

日本語教育マネジメントを考えるオンラインイベント

「誰かと一緒にやる・続ける」

～日本語教育の共同実践を始める・続けるには？～

イベントの趣旨

みなさんの中には共同実践をしてみたい、または現在共同実践を行っているが、今一つうまくいかずどのようにすればいいのかと悩んでいる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。なお、ここで言う共同実践というのは、自分一人ではなく、だれかと連携して研究、教育実践、教材開発、交流活動等を行うことを指します。

学会発表や論文等で共同実践の報告を見ることは珍しくありません。しかし、そのほとんどが「何をしたか」に関する記述が中心であり、「どのようにそれを行ったか」、「円滑に行うためにどのようなことに留意したのか」等に関する記述は少なく、これから共同実践を行おうとする人や現在共同実践を行っている人にとって参照できるようなものは決して多くありません。その結果、「他の人はどうしているんだろう？」と思いながら、それぞれがほぼゼロの状態から共同実践の始め方、進め方等を模索しているという状況になっていることが多いのではないのでしょうか。

本イベントでは、共同実践を行っている方にご登壇いただき、その実践に関して「どのようにして共同実践者となつながら」「どのようなことに留意し」「どのようにコミュニケーションをとり」「どのように共同実践を行ったのか」ということについてお話しいたします。そのうえで、ブレイクアウトセッションにおいて、参加者と登壇者の間で共同実践について意見交換を行えればと考えています。共同実践を行ってみたいという方、共同実践を行っているが、その進め方などで悩んでいる方は是非ご参加ください。

開催概要

日時： 2025 年 12 月 6 日（土）10:00-12:00
開催形式： オンライン（Zoom）
参加費： 無料
定員： 30 名
参加申込： 以下のフォームより申し込んでください。
<https://forms.gle/CrmnWNXWRmw42Exm6>
申込締切 12 月 4 日（木）23：59

当日の流れ

1. 趣旨説明
2. 日本語教育マネジメントに関するご紹介
3. 登壇者による実践報告と質疑応答その 1
4. 登壇者による実践報告と質疑応答その 2
5. ブレイクアウトセッションで登壇者と参加者によるディスカッション（20 分×2）
6. まとめ

登壇者

① 島由佳さん（鹿児島高等学校）

私は現在、高校で英語を教えています。以前は日本語学校で日本語教師として勤務していました。その経験を生かして、日本人高校生と留学生の交流活動や協働学習に取り組んでいます。当日は、「学校教育現場との連携」をテーマにお話しさせていただきます。

島 由佳（2024）「日本人高校生と留学生による教科学習における学び合い（数学授業での異文化間協働学習の事例）」 https://www.jstage.jst.go.jp/article/jagce/12/1/12_39/_pdf/-char/ja

② 日本語教育ケースメソッド研究会：鈴木綾乃さん（横浜市立大学）・鈴木秀明さん（目白大学）・アドゥアヨムアヘゴ希佳子さん（宝塚大学）・羅 曉勤さん（台中科技大学）

私たちは、ケースメソッド教授法（CM）を授業に活用するために活動している、日本語教育研究者・実践者です。2022 年ごろから活動を始め、お互いの授業に関する情報交換のほか、これまでに学会発表や日本語教師向けのセミナーなども行ってきました。当日は、鈴木綾乃・鈴木秀明が参加させていただき、私達が普段どのように活動を進めているか、お話いたします。

「日本語教育マネジメント」について

「マネジメント」という語は、一般的に「目標を達成するためのリソースの最適な活用」という意味で用いられますが、日本語教育の分野でこの語を聞くことは決して多くはありません。しかし、目標をいかに円滑に達成するかという観点は、日本語教育の実践や研究においても必要不可欠なものです。私たちは、「日本語教育マネジメント（仮に日本語教育の実践や研究における目標を達成するための方策と定義します）」を対象とした研究や情報共有、意見交換が重要だと考え、このオンラインイベントを企画しました。

日本語教育マネジメントを考えるオンラインイベント運営メンバー（五十音順）

鈴木 綾乃（横浜市立大学）

現在進めている研究テーマは日本語教育におけるディスカッション授業の効果的な実施、及び多義語・コロケーションの習得と教育方法。日本語教育マネジメント上の関心は、組織における日本語教育担当者の役割。

角南 北斗（フリーランス）

広くデザイン分野における学習・教育が実践を兼ねた研究テーマ。日本語教育マネジメント上の関心は、ウェブサイト制作や日本語教材開発。

中川 健司（横浜国立大学）

主な研究テーマは、介護の日本語教材開発、及び日本語教師の管理運営業務。日本語教育マネジメント上の関心は、学会運営及び教材開発。

平山 允子（日本学生支援機構東京日本語教育センター）

主な関心は、語彙・漢字の学習・教育、日本語学校の組織開発、など。